



42 ジャマイカ 北部地域開発事業

北部主要観光地のインフラ整備により
観光客の増加に貢献

承諾額/実行額 86億600万円/85億9,900万円
 借款契約調印 1991年10月
 借款契約条件 金利3.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイト
 貸付完了 2002年3月
 実施機関 国家水利委員会 URL: <http://www.nwcjamaica.com>
 国家公共事業庁 URL: <http://www.nwa.gov.jm>
 ジャマイカ港湾局 URL: <http://www.portjam.com>



本事業の目的

ジャマイカの主要観光地であるモンテゴベイ、オーチョ・リオス、ネグリル地区を対象に、上下水道、道路、排水路、港湾等の整備・改善を行うことにより、観光客の増加およびその増加への対応を図り、地域の経済成長および住民の生活環境改善に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) 評価a

本事業実施により、ネグリル地区にて整備された上水道施設については、当初計画の給水量は事業完成後2年目に平均4.3imgd^{*}(約2万トン/日)であったのに対し、2003年実績では4.2imgdとほぼ計画通りとなっているが、無収水率については2005年実績57%と高い水準であることが確認された。ネグリル～モンテゴベイ間にて整備された道路(約71km)については、本事業実施後片道の所要時間が1時間短縮されたことがわかった。モンテゴベイ地区にて整備された下水道施設については、施設稼働開始後(1999年)、汚水処理人口は増加しているが、普及率は全国平均(約20%)と比して14%と低い水準である。モンテゴベイ排水・洪水制御事業については、受益者調査では、回答者である世帯の80%以上より浸水等の被害は軽減したとの意見が寄せられている。オーチョ・リオス港湾拡張事業については、クルーズ船の寄航数が増加基調であり、観光開発に対する一定の効果があつたと判断される。事業対象3地区における観光客数は、堅調な伸び(1998年155.9万人から2004年の214万人)を示しており、

本事業完成後(2002年)においては急激に増加していることから、本事業実施が観光産業を通じた地域経済成長を下支えしていると評価される。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

* imgd: 1.0imgd=4,546トン/日、imperial million gallon per dayの略

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) 評価a

本事業の実施は、審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。

事業実施の経済性(効率性) 評価C

本事業は、期間、事業費ともに計画を大幅に上回っており(それぞれ計画比220%程度、238%程度)、効率性についての評価は低い。

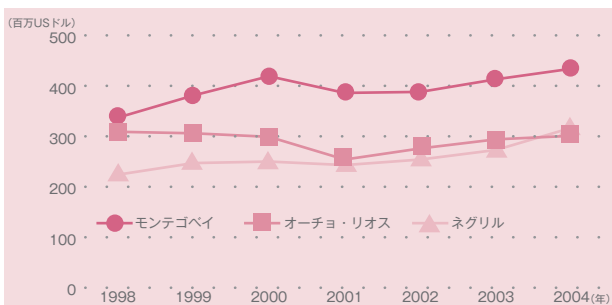
今後の展望(持続性) 評価b

本事業の各実施機関は、財務面に若干の問題があるものの、上水道施設、下水処理施設、道路舗装箇所等本事業にて整備された施設等の維持管理を適切に行っており、持続性については概ね問題ない。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は概ね高いといえる。提言としては、無収水率の引き下げ、および実施機関の財務面の強化等を図るための施策を講じることが挙げられる。

対象3地区の観光外貨収入の推移



開発途上国専門家の意見

本事業は、住民および観光客のニーズに対応しており、観光地間の所要交通時間短縮、洪水被害の軽減、上下水サービスの向上、観光客の増加等に貢献している。

専門家の氏名: Mr. Michael Witter (学者)
 西インディー大学社会科学部経済学科長、上級講師。専門は経済。